

# 2017年度大学入試センター試験概況分析

河合塾

2017/2/6

このほど、大学入試センターから2017年度大学入試センター試験（以下、センター試験）の実施結果が発表され、受験者数、科目別平均点などが判明した。

以下、今年度のセンター試験の概況を振り返る。

## ■志願者数・受験者数は増加

2017年度センター試験は1月14・15日の2日間にわたり、全国691の試験会場で実施された。今年の実施日は過去最速であり、年が明けてすぐにセンター試験が実施された感がある。

当日は寒波が押し寄せ、広い範囲で大雪に見舞われた。この影響により交通機関が乱れ、試験時間の繰り下げが行われた会場もあった。

また、試験終了後、大学入試センターは試験中の不正行為が北海道や愛知などの6道県であったことを公表した。不正の内容はスマートフォンの使用、試験終了後のマークシートの修正などで、該当の受験生の成績は全科目無効とされた。

今年度の志願者数は575,967人（前年比102.2%）、受験者数は547,892人（前年比102.1%）といずれも前年から増加した【図表1】。受験率は95.1%と、雪の影響を感じさせない数字となった。

【図表1】センター試験 志願者数・受験者数推移

年度	志願者数	受験者数			受験率	
		総数	本試験のみ	追試験または再試験のみ		
2008	543,385	504,387	504,136	65	186	92.8%
2009	543,981	507,621	507,345	125	151	93.3%
2010	553,368	520,600	519,707	453	440	94.1%
2011	558,984	527,793	527,405	204	184	94.4%
2012	555,537	526,311	525,838	129	344	94.7%
2013	573,344	543,271	542,943	233	95	94.8%
2014	560,672	532,350	531,987	158	205	94.9%
2015	559,132	530,537	530,177	280	80	94.9%
2016	563,768	536,828	536,659	106	63	95.2%
2017	575,967	547,892	547,391	301	200	95.1%

※大学入試センター資料より  
※受験率は受験者数(総数)／志願者数

## ■受験科目数別受験者の割合

【図表2】は受験科目数別の受験者数である。前年差をみると、昨年から大きく増加しているのは3科目の受験者であり、約9千人（前年比107.9%）増加している。私立大でセンター試験利用が増加していることにより、私立大志望者の受験が増加しているためと考えられる。また、8科目で受験者が減少、7科目で増加している。国公立大では多くの大学で理科、地歴公民は第1解答科目指定をしている。最大科目数である8科目を受験しても、第2解答科目で受験した科目は判定に使用されないため、受験時点から8科目を選択する受験生が減少していると考えられる。

【図表2】センター試験 受験科目数別の受験者数

受験科目数	受験者数			前年差
	15年度	16年度	17年度	
8科目	14,385	12,393	10,174	-2,219
7科目	291,447	293,513	297,009	+3,496
4-6科目	98,280	99,262	99,892	+630
3科目	107,546	112,462	121,383	+8,921
1-2科目	18,879	19,198	19,434	+236
合計	530,537	536,828	547,892	+11,064

※大学入試センター資料より

## ■科目別の実施状況

【図表3】は大学入試センターが公表した主な科目の平均点と受験者数の一覧である。「英語」は筆記で11点アップ、リスニングを含めても約9点アップした。筆記では長文読解の物語文が内容理解の難しいものであったが、全体としての難易度はやや易化し、平均点アップにつながった。「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」も易化し、平均点はそれぞれアップした。一方、「国語」は22点の大幅ダウンとなった。現代文の難化と、現代文に時間を取られて古文、漢文に十分な時間を取れなかった受験生が多かったことが要因であろう。また、主に文系生が受験する理科①では「生物基礎」で平均点が約12点アップの39点となった。理科①受験者の多くは「化学基礎」と「生物基礎」の組み合わせで受験するが、その合計平均点は7割近くになる。文系では理科で得点できたと感じる受験生が多かったのではないかと。一方、理系生が受験する理科②では、「物理」、「生物」では平均点がアップしたものの、受験者が多い「化学」の平均点が昨年に続きダウンした。

【図表3】センター試験 主要科目平均点・受験者数(本試験)

教科・科目名		平均点			受験者数		
		16年度	17年度	差	16年度	17年度	差
英語	筆記	112.43	123.73	+11.3	529,688	540,029	+10,341
	リスニング	30.81	28.11	-2.7	522,950	532,627	+9,677
数学①	数学Ⅰ	36.48	34.02	-2.5	5,981	6,156	+175
	数学Ⅰ・数学A	55.27	61.12	+5.8	392,479	394,557	+2,078
数学②	数学Ⅱ	27.76	25.11	-2.7	5,782	5,971	+189
	数学Ⅱ・数学B	47.92	52.07	+4.2	353,423	353,836	+413
国語		129.39	106.96	-22.4	507,791	519,129	+11,338
理科①	物理基礎	34.37	29.69	-4.7	18,304	19,406	+1,102
	化学基礎	26.77	28.59	+1.8	105,937	109,795	+3,858
	生物基礎	27.58	39.47	+11.9	133,653	136,170	+2,517
	地学基礎	33.90	32.50	-1.4	47,092	47,506	+414
理科②	物理	61.70	62.88	+1.2	155,739	156,719	+980
	化学	54.48	51.94	-2.5	211,676	209,400	-2,276
	生物	63.62	68.97	+5.4	77,389	74,676	-2,713
	地学	38.64	53.77	+15.1	2,126	1,660	-466
地歴	世界史A	42.07	42.83	+0.8	1,449	1,329	-120
	世界史B	67.25	65.44	-1.8	84,131	87,564	+3,433
	日本史A	40.81	37.47	-3.3	2,472	2,559	+87
	日本史B	65.55	59.29	-6.3	160,830	167,514	+6,684
	地理A	52.14	57.08	+4.9	1,805	1,901	+96
	地理B	60.10	62.34	+2.2	147,929	150,723	+2,794
公民	現代社会	54.53	57.41	+2.9	80,240	76,490	-3,750
	倫理	51.84	54.66	+2.8	26,039	22,022	-4,017
	政治・経済	59.97	63.01	+3.0	49,184	54,243	+5,059
	倫理・政治・経済	60.50	66.63	+6.1	48,709	50,486	+1,777

※大学入試センター資料より

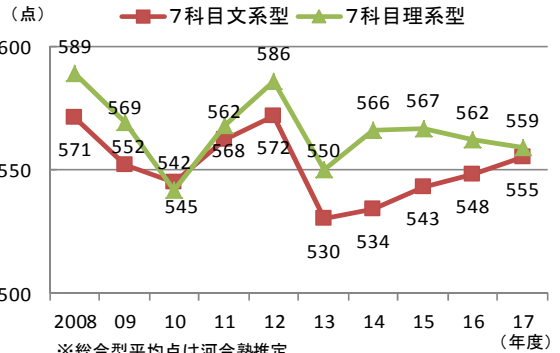
■総合型平均点—文系で上昇、理系は前年並み

【図表4】は河合塾が推定するセンター試験の7科目型の平均点推移である。今年度の平均点は7科目文系型(900点満点)を555点(前年差+7点)、7科目理系型(900点満点)を559点(前年差-3点)とした。

文系、理系でアップダウンの差を分けたのは理科である。先述の通り、文系生が多く受験する理科①で「化学基礎」「生物基礎」の平均点がアップした一方、理系生が多く受験する理科②で「化学」で平均点がダウンしたことが影響している。

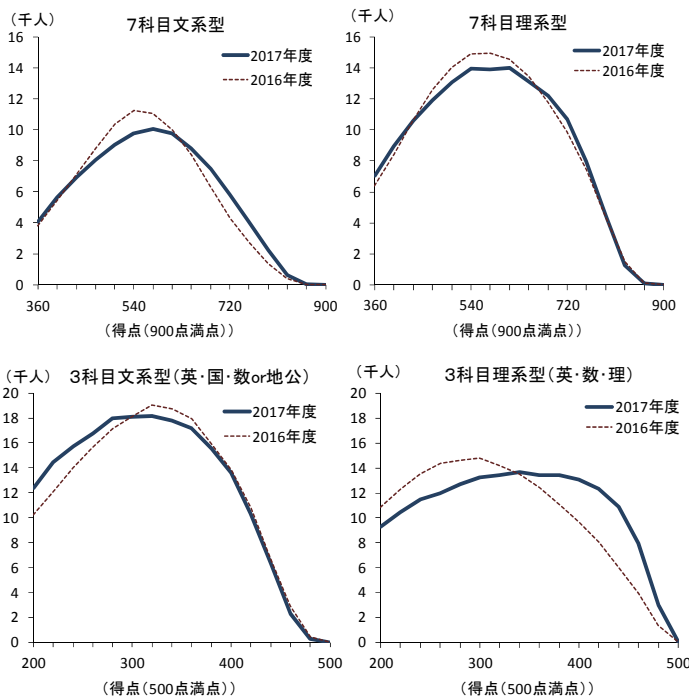
【図表5】は河合塾が実施した自己採点集計「センター・リサーチ」参加者の得点分布である。

【図表4】センター試験 総合型平均点推移



※総合型平均点は河合塾推定  
 7科目文系型: 英・数(2)・国・理(1)・地公(2)(900点満点)  
 7科目理系型: 英・数(2)・国・理(2)・地公(1)(900点満点)  
 \* 英語は筆記+リスニングの250点を200点に換算して集計  
 \* 理科の基礎を付した科目は2科目で1科目とする

【図表5】センター・リサーチ 7科目型、3科目型受験者の得点分布



7科目型では文系は平均点の上昇もあり、今年の分布は右へシフトしている。650点付近(得点率7割強)から増加がみられ、とくに旧帝大を中心とした国公立難関大合格の目安となる8割以上の成績層は前年から4割ほど増加した。

理系では、7科目型の平均点は前年並みだが、分布の山頂付近が減少し、左右の山裾部分で増加する形となった。国立難関大合格の目安となる得点率8割以上ではわずかながら増加している。

なお、今年は3科目型でみると状況が逆転する。3科目型では文系で平均点ダウン、理系でアップとなっている。7科目型と比べて国語の平均点ダウンの影響が大きく出た文系のグラフは大きく左にシフト、一方、理系は英語、数学の平均点アップにより、3教科型のグラフが右にシフトしている。